

# パンタナール通信

一般社団法人 南北米福地開発協会 会報 2017年3月1日 162号  
世界平和地球村の建設と自然環境の保護



開墾体験を終えた21日研修生たち



リンゴ農家の野口さんがレダに出発。



奥迫さんと婚約者のカタリーナさん。



2016年国際ボランティア隊のエネルギー。

**若者よ、パンタナールに来たれ!**

生命が豊かで、自然が生々しく息づき、秘めた可能性のほとんどが開発のパンタナール。それを人生に例えれば、青春時代と言っても差し支えないでしょう。美しさも未熟さも、豊かさも貧しさも、荒々しさも優しさも、賢さも幼さも、みな併せ持つ青年のようです。動物も、植物も、季節や気象のような自然現象も、その純粹で激しい原初の息吹は、訪れる人々を圧倒します。また先住民の村々を訪れば、子供たちの多さに驚嘆します。

「ここはこどもの国か?」いいえ、そこは人々が素朴に、真っ直ぐに生きる社会です。ただし教育が不十分なところはあります。

文明の恩恵とガラクタとがすさまじい勢いで、秘境の地であった村々にも浸透し、純朴な子供たちや大人にも善悪ともどもの影響を及ぼしています。あの子供たちのキラキラ輝く瞳は、いつまであのままいてくれるだろうか、将来どんな青年になってくれるだろうか、心配になったりもします。

そんな現実には挑戦し、未来を創り出すのは、青年たちです。そして青年の精神を保った壮年と熟年です。彼らこそ、パンタナールに秘められた大自然本来の力を開発し、生きとし生けるものの福地を実現する原動力です。家庭が定住し、若者が自らの大きな居場所を見つけ、子供たちが愛を学びながら健康に育つ地からこそ福地が始まるでしょう。

パンタナールの自然には、創造本然の愛の教材がいっぱいいます。パンタナールは若者たちを待っています。若者よ、パンタナールに来たれ! 未知の世界に冒険しよう!



21日研修生に楽しい食事の時間がやって来た。



今レダ基地では  
Leda Ahora

レダ基地公館前にて、21日研修生たち。



21日研修生の釣り体験。みごとに釣果でした。



子豚を抱っこするカタリーナさん。



カピバラの大好きな青草をやると...



ヤシの林で開墾体験をする21日修練生たち。



美味しい豆腐を作った吉村氏。



(左より)シクトー氏、豊村氏、カタリーナさん、奥迫さんがボートで到着。



美味しいピザを作ったカタリーナさん。



ボガを釣った大元氏。



伊藤鷹雄氏、公文氏、伊藤玄一郎氏が到着。



アキダバンに乗る奥迫さんとカタリーナさんを見送るレダ基地スタッフ。



パクー稚魚13,000尾を大きな池に移動。

# 土佐嘉孝さん帰国報告

パンタナールの大自然と、人々の暮らしや文化、そしてレダプロジェクトの素晴らしさを身をもって体感することができました！



カピバラハウスにて。

私は二〇一六年六月から十二月にかけて、パンタナール・レダ基地でのボランティアと卒業論文執筆のための研究を目的として約半年間、南米パラグアイ

に滞在しました。今回の滞在を決めたきっかけは、二〇一五年の第十五回国際協力青年奉仕隊で初めてレダ基地を訪れてみて、そのプロジェクト内容や日本では体験できないほどの大自然に感銘を受けたことと、大学で専攻している観光の分野でパラグアイ川沿岸のパンタナール地域について研究し、卒業論文のテーマにしたいと思ったからです。



このシカは、とても大きくなります。

レダ基地では先住方や現地労働者たちと様々な仕事をさせていただきました。養殖魚（パクー）の世話や農業、土木、大工仕事など、日本ではまず体験したことのないものばかりで、そんな仕事の中でも、カピバラの世話が最も印象的でした。



パクーの収穫作業を手伝う。(第15次奉仕隊)

レダ基地ではカピバラの保護と将来的な観光資源化を目指して近隣の先住民が捕獲したものを買い取り、飼育しています。私の滞在中は最大で15頭ものカピバラがいて、現地労働者と協力しながら毎日の掃除やエサやりを奮闘しました。

仕事以外にもほぼ毎日釣りをし、犬や猫、鹿、馬など、あらゆる動物たちと触れ合い、夜は満天の星空を眺め、パンタナールの自然を心ゆくまで満喫



ディアナの校舎を塗装。(第16次奉仕隊)



ペロ・デ・ベス (ドッグフィッシュ) 釣った！

しました。そして現地の労働者たちとサッカーや覚えたてのスペイン語で交流を深めながら、改めてパンタナールの大自然と、そこに生きる人たちの暮らしや文化、そしてレダプロジェクトの素晴らしさを身をもって体感することができた半年間でした。

今後はパラグアイ滞在中を通して学んだことを卒業論文や将来の進路に活かしていきたいながら、これからも様々な形でこのレダプロジェクトに関わっていき



ディアナの子供たちとダンス。(第16次奉仕隊)



これも観光修行の一環 (ブラジル鳥の公園にて)

たいと考えています。最後にこのような数々の貴重な体験をさせていただいた先生方、そして応援していただいた会員の皆様から感謝申し上げます。ありがとうございました。

●立教大学観光学部4年、土佐嘉孝



離れ技を披露。アスンシオンの教会にて。

## 初の定住準備を視野に、 中井夫妻がアスンシオンへ出発！

二月五日18時30分、中井重幸・秀子夫妻が、成田空港よりパラグアイに向け出発されました。

空港には二人のお嬢さんが来られ、終始笑顔の見送りでした。斎藤理事夫妻と私（大滝）も、中井夫妻が無事に到着されるよう祈りつつ見送りました。

前日、当法人事務所での理事会に参加された折、中井氏（アスンシオン事務所長）は「今回は家庭の移動のため、妻の荷物も多く・・・」と語られ、秀子夫人は「前回は突然の渡航なので深く考える間もなく旅立ちましたが、今回は定住の準備を目的とした渡航なので、三日間考え、整理の期間がありました。決意を固めての渡航です」とスッキリとした表情で語っていらっしゃいました。



左より愛和さん、秀子夫人、中井氏、恵美さん。

お二人を見送った後、二人のお嬢さん、斎藤理事夫妻、私の五人で交流の時を持ちました。長女の愛和さんは「一時倒れた父が帰国した時は、顔を見てはじめて安心しました」とお父さん思いの優しい孝女の心の内を語って居られました。中井氏は体調が必ずしも万全とは言えないようですが、現地では激務が待っており、健勝を祈るばかりです。（大滝記）

## ♥ 第十三回パンタナール一日特別研修会のご案内

本年最初のパンタナール一日特別研修会（ワンデイズセミナー）を開催いたします。春爛漫の頃、ご家族や友人を誘うとても好い機会です。

日時 平成二九年四月八日（土）午前十時より受付、十時二〇分開始、午後五時終了予定。

会場 国立オリンピックピック記念青少年総合センター国際棟二階セミナー室（小田急線参宮橋駅徒歩七分、京王バス渋谷駅西口40番より代々木五丁目下車）

参加費 二〇〇〇円（昼食を含む）

参加を希望される方は、四月四日までに、メールかFaxで次の項目を下記事務局宛てお送りください。  
①氏名②フリガナ③性別④年齢⑤電話番号⑥Fax⑦メール⑧住所⑨紹介者⑩紹介者連絡先⑪備考

主催 一般社団法人 南北米福地開発協会  
共催 NPO法人 地球の緑を守る会

プログラム（予定） ●「レダ開拓と福地建設の歩み」

講師・・柴沼邦彦「当法人理事」 ●「地球環境問題救済の道」講師・・高津啓洋「NPO代表」 ●「レダ体験報告①」吉村敏明「当法人理事、(株)パンタナールの社長としてレダ支援に尽力、昨年三〜六月、十一月〜今年二月、レダにて奉仕しながら体験した世界を報告

●「レダ体験報告②」奥迫孝頭「第13回青年奉仕隊員、



柴沼講師によるパワーポイント講義。



高津講師の講義。桜やタブノキの下で。

命医学科 校水産生 鮮文大 最終学期 をインター ンとして レダで現 場の実習、 精力的研 究に取組 んだ。

## 一般社団法人 南北米福地開発協会 事務局

〒213-0001

神奈川県川崎市高津区

溝口3-11-15

岩崎ビル4F

電話：044-829-2821

FAX：044-829-2820

ゆうちょ銀行（旧一般会員会費納入）

記号10280 番号61349751

一般社団法人 南北米福地開発協会

E-メール：office@asd-nsa.com

ホームページ：asd-nsa.com

## 会員種別

- ◆ 会員一口1000円/月
- ◆ 特別会員一口1万円/月
- ◆ 法人会員一口1万円/月

※いずれも口数は申込者が申告

会費は、毎月の引き落とし方式です。

会費振替用口座 ゆうちょ銀行

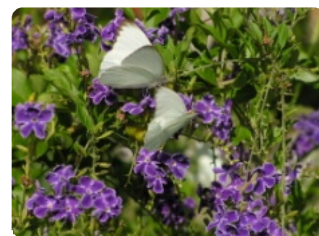
00290-5-113072

加入者名：(シャ) 南北米福地開発協会

入会申し込みと同時に手続きをお願い申し上げます。それが確認でき次第、会員番号を確定し、ご案内いたします。

♥ 入会申込書は、左記の事務局にお申し付けください。ホームページからも入手できます。

## お便り募集



読者の皆様からのお便りを募集します。本紙記事へのご感想や提案、皆様個人やご家庭での歩み、あるいはグループや支部での活動と関連写真、イラストなどをお待ちしています。宛て先は、事務局 office@asd-nsa.com へお願いします。